

【地区の魅力】

四方を比較的高い丘陵地に囲まれ、独立性の高い地区を形成しており、中央部に北側から張り出した丘陵部によって、東西2つのまとまりのある景観にわかれている。
 温室ブドウ発祥の地である津高地区では、マスカット温室がまとまって広がり、一宮地区の傾斜地には果樹栽培の特徴的な農業景観が広がっており、独特の風情を醸し出している。
 山陽自動車道ICや国道53号の整備により、北の玄関口としての性格が強まり、バイパス沿いでは新たな都市活動が盛んである。
 津高台団地や芳賀佐山団地などの計画的な住宅地は、丘陵地の地形に調和し、良好な住環境が形成されている。

【地区の課題】

旧国道53号沿いの比較的顺序ある沿道景観を適切に維持し、市街化が進みつつある国道53号沿いでは、新たな沿道景観を適切に誘導する必要がある。
 果樹栽培の営農環境を守り、マスカット温室や果樹園と一体となった農村集落の特徴ある農業景観を維持保全していくことが望まれる。
 丘陵地にまとまって立地する計画的な住宅団地の良好な住環境を、適切に維持、保全する。

【景観づくりの目標】

市中心部への北の玄関口として、美しい沿道景観を形成するとともに、果樹栽培の特徴的な景観や変化に富んだ丘陵地や住宅地の景観を維持、保全しながら、個性ある景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



比較的屋外広告物などの少ない旧国道53号沿いの景観



新たな市街化が進む国道53号沿い



白桃畑が広がる農業景観



温室と農家集落、里山が一体となった景観



緑化が進み良好な住環境が守られている芳賀佐山団地



伝統的な農家住宅（辛香地区）

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 果樹栽培の特徴的な農業景観を保全する	特徴的な温室形態をもつ果樹園を適切に維持するとともに、営農環境を守る。
2. 良好な住宅地景観を形成する	津高台団地、芳賀佐山団地などの計画的な住宅団地の良好な景観を維持・保全する。
	新たな住宅地開発については、自然景観、地形になじんだ開発を誘導する。
3. 幹線道路の沿道景観を修景する	屋外広告物の形態・意匠をコントロールする。
	緑豊かな沿道景観を形成する。
4. 緑地を保全する	まとまった斜面緑地を守る。
5. 大規模な施設を修景する	大規模施設の形態・意匠を誘導する。

図 景観づくりの方針

